

厳選良問

～ 簡単な問題ほど勘違いは厳禁 ～

分野	相談援助分野	出典	介護福祉士試験(第27回-問題33)
----	--------	----	--------------------

===== 問題 =====

問題 バイステック(Biestek, F.)の7原則を介護場面に適用したときの記述として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「個別化」とは、利用者に具体的な指示を出すことである。
- 2 「意図的な感情表出」とは、介護福祉職の感情表出を大切にすることである。
- 3 「統制された情緒的関与」とは、利用者の感情をコントロールしてかかわることである。
- 4 「受容」とは、利用者の同意を得ることである。
- 5 「非審判的態度」とは、介護福祉職の価値観で評価せずに利用者にかかわることである。

===== ポイント&解答 =====

資格別試験対策

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	保育士
★★★	★★★	★★★	★★★	★★★

注) ★★★…必ず学習!! ★★…できれば学習! ★…余裕があれば確認 ×…学習しなくてOK

試験対策ポイント解説

バイステックの7原則に関する基礎問題ですので、多くの受験生が無難に正解できる問題です。しかし、「バイステックの7原則は、援助者からの視点でみた利用者に向けられた行動であること」という部分を「利用者本位」などと混同して覚えてしまうと、足下をすくわれてしまう場合もあるので、注意してください。

このような基礎問題は、出題者からのプレゼント問題ですので、そのご厚意をしっかりと受け止めて、確実に得点してあげましょう。

バイステックの7原則の中でも、「意図的な感情表出の原則」と「統制された情緒関与の原則」は出題されやすいので、絶対にその意味を理解しておいてください。

